

2018年9月11日

課題名：冠動脈ステント留置後の抗血小板薬2剤併用療法中に緊急手術を要した症例の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、手術中・手術後の全身管理を向上させる目的で、冠動脈ステント留置後に緊急手術を受けられた患者さんを対象に、臨床研究を実施しています。

◆対象となる患者さん◆

2007年1月から、2018年3月までの間に、冠動脈ステント留置後に抗血小板薬を2剤（バイアスピリン+チクロピジン（パナルジン）、クロピドグレル（プラビックス）、プラスグレル（エフィエント）など）を服用している最中に、当院で緊急手術を受けられた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、身長、体重、冠動脈ステント留置日および種類、現在の内服薬、緊急手術日および内容・麻酔方法・使用麻酔薬・手術時間・麻酔時間、術前の状態および血液検査、手術中の輸液量・出血量・尿量・輸血量、院内予後、術後180日以内の合併症と予後

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

麻酔科 研究責任者 入江 洋正

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明